



No.95

市政の窓

「春本番」

「暖冬」と言われておりましたが、さすがに2月は寒い日が多く、異常気象からか太平洋側の低気圧の発達で降雪が千葉県でも何回もあり、驚いた事にハワイでも確認されたこのことでもあります。

このような冷たい2月に、県内では女児虐待死で両親が容疑者として逮捕された事件が連日報道されておりました。冷酷で非情な暴力行為をなぜ発見、防げなかったのか。事件の真相が明らかになる中で、学校・教育委員会・児童相談所に向けて、厳しい指摘もあるようですが、全ての大人が連携し、注視し社会全体で取り組む必要があ

ると思います。近年は地域と家庭のつながりの稀薄化や、核家族化による高齢者世帯や若者世帯が増加傾向にある中、再発防止には更なる地域におけるコミュニティの育成や交流の輪を広げることの大事さを痛感いたします。

二度とこのような悲劇が起こらない事を願うとともに、亡くなった児童のご冥福を心からお祈り申し上げます。

また、スポーツ界からも大変なニュースが飛び込んできました。競泳女子のエースであります池江璃花子選手が自ら白血病を告白し、「治療に専念するため、競技活動を一時休止する」という衝撃的なものでした。全国民の動揺はさることながら、本人の想いはいかばかりか推測のすべがありません。ただ、

一日も早い回復を祈るのみです。その後数回にわたりコメントを発表しておりますが、18歳とは思えない、しっかりとした素晴らしい内容であり、逆に心配している我々が勇気づけられました。このような中、骨髄バンクのドナー登録が急増するという社会現象が起きております。折しも本市では、ドナー提供者や企業に対し、4月からの助成制度を制定したところですが、

寒く重苦しい2月でしたが、今月は入学試験で、「サクラサク」そして晴れて学びやを卒業する季節です。スポーツ面でも、選抜高等学校野球大会で本県からの習志野高校と本市出身の及川君率いる横浜高校が活躍する頃は、春本番になるでしょう。

匝瑳市長 太田安規

入山崎を歩く

七面社記

匝瑳探訪

154

七面大明神は「七面天女」とも呼ばれ、日蓮宗寺院でまつられます。市内では、内山(豊和地区)妙廣寺、木積(豊栄地区)圓實寺、入山崎(吉田地区)金蓮寺などでまつられています。

「七面社記」は、金蓮寺の七面天女の由来を、1720(享保5)年に当時の飯高檀林化主(檀林長)日潮が記したものです。

この社記には入山崎・七面社に関連した2人の僧侶の名が出て来ます。社記を依頼した日真

と七面社を開いたとされる日行です。日行は飯高檀林の副檀林長に当たる玄義講主を経て、堺(大阪府堺市)妙国寺と中山(市川市)法華経寺の歴代住職に就いたとされますが、いずれも1716(享保元)年に亡くなった後、歴代に加えられたようです。

入山崎区でかつて郷山と呼ばれた共有地に、日行を埋葬したとみられる小塚があります。この塚の上に墓石を立てたのは弟子の日真ら3人の僧侶で、塚で生まれた日行は、眼病にかかりここで亡くなったと刻まれています。

七面天女は本紙平成28年2月号で紹介したように、1650年代にはまつられていたと考えられます。この社記は日行の業績として書かれたものなのでしよう。

(市文化財審議会委員)

依知川雅一

問秘書課広報聴班

073・0080



入山崎区にある日行の墓石

文芸コーナー

短歌

小泉泰清 推薦

水仙の堅き蕾もほぐれゆき
 甘き香放ち鼻孔くすぐる
 テレビドラマに亡父生れし年映し出され
 明治の頃の様子に見入る
 やうやくに夜は明けしや病室の
 窓に水平線をたしかむ
 急流に落ちし椿の紅の色
 すがた乱れず消えてゆきたり
 春待たず散り去る土俵稀勢の里
 語り継ぎたい二度の優勝
 ありがとうたった五文字も言われれば
 心弾んでヤル気また出る
 おとづれて喜ぶ姿今はなく
 ざぶとん淋し暖き縁側

木島 仁美
 伊藤 英子
 椎名 昭雄
 宇野とし子
 大木 洋一
 小川 一夫
 川口 登喜

川口城司 推薦

俳句

高安せい子 推薦

寒晴や人を見舞ひしあとの海
 蜆汁その日汁椀大きかり
 紅梅や炎の中に雪降れり
 堰近く小舟操る蜆取り
 かるやかに竹林雪を払ひけり
 裸木に木の葉移りをする小鳥

大川 宣子
 椿 和枝
 岩井 やす
 最上 峻
 椎名 晴江
 高木 芳夫

老友のこれで終りと賀状来る
 何かしら刺さり来るもの軍用機
 下駄箱の水仙香る初出社

伊藤 定子
 石田 健
 須貝 玉枝

川口城司 推薦

川柳

勝又康之 推薦

花粉症おひな様までクシャミする
 初孫の成長祝うひなまつり
 チコちゃんに叱られている変わり雛
 子供より親が嬉しい初節句
 お雛さん震えているよ奥座敷
 お雛様三代繋ぎ飾られる
 穏やかな平成終の雛かざり

江波戸京子
 佐久間美智子
 鶴澤 澄子
 常世田やす子
 岡田けい子
 林 サダ子
 松野 敏昭

川口城司 推薦

力作募集中

あて先：匝瑳市秘書課広報広聴班 〒289-2198 匝瑳市八日市場ハ793番地2
 ☎73・0080 FAX72・1114

図書館だより

図書館ホームページはコチラ
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



- 休館日…7日(木)・毎週月曜日
- 祝日開館日…21日(木) 9時~17時

☎八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

図書館の「手続き」を紹介

図書館には次のような手続きがあります。各手続きには運転免許証や被保険者証などの身分証明書が必要です。
 登録(新規)…被保険者証があれば、赤ちゃんでも登録して図書館カードを作ることができます。
 変更…カードの登録内容(住所・氏名・電話番号など)に変更が生じた場合に手続きしてください。
 再交付…カードを紛失した場合に再交付ができます(手数料100円)。
 登録(パスワード設定)…中学生以

上の人は、4桁のパスワードを登録すると、図書館ホームページから、予約や延長の手続きができ、「マイ本棚」機能で自分が利用した資料を登録することも可能です。手続きには、図書館カードをお持ちください。
 ※3年ごとの誕生日前後の利用時に、カード更新のため、住所などの確認をしています。

3月のおはなし会

- ★八日市場図書館 毎週土曜日14時から約30分間
- ★のさか図書館 第4土曜日10時30分から約30分間

おすすめの本

桜の季節に、桜の本はいかがでしょう。

『桜の実の熟する時』
 島崎藤村/作 岩波書店

作者の少年期から青年期が描かれた自伝的小説。文学へのほとばしる情熱、かなわぬ恋がつづられます。

『桜の科学 日本の「サクラ」は10種だけ?新しい事実、知られざる由来とは』

勝木俊雄/著 SBクリエイティブ

東京から桜が消える? 著者は20年以上桜を研究し、DNA解析や歴史資料などから分かった桜の知られざる面や由来を、50のトピックスで紹介しています。